

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年 4月23日更新

事務事業名		道路占用・施行承認事務					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	5	都市基盤の健康				所属部	都市建設部	課長名	九重 浩光
	施 策	24	計画的な道路の整備				所属課	建設課	担当者名	米澤 智弥
	施策の柱	67	道路環境の整備				所属班	維持管理班	(内線)	5254
予算科目		会計一般	款 8	項 1	目 1	事業連番 10111	根拠法令	道路法		
終了、開始年度		☐ 31年度で終了 ☐ 31年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	申請があったものを道路法に基づき審査し許可書（承認書）を交付する。
【業務の流れ】	相談、書類受付、許可書又は承認書の起案（交通規制を行う場合は警察へ協議後）、許可書の引渡し又は発送。
【主な予算費目】	道路占用料
【意見や要望】	特にない

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)		2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
占用料の賦課、徴収を行いました。許可書（承認書）を交付しました。		占用料の賦課、徴収事務許可書（承認書）交付	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ ア 許可書交付数		件	
⇒ イ 承認書交付数		件	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等申請者		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
		⇒ ア 申請件数	件
		⇒ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)申請者が工事等を行えるようになる		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
		⇒ ア 許可・承認にもとづき施行を行った率	%
		⇒ イ	
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠 市道、里道、水路に個人で埋設物を埋設される際、適正な指導が求められる。			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込
① 活動指標	ア 件	件	267	300	330	340	330	330	330	330
	イ 件	件	52	64	40	67	45	45	45	45
② 対象指標	ア 件	件	267	300	330	340	330	330	330	330
	イ 件	件								
③ 成果指標	ア %	%	100	100	100	100	100	100	100	0
	イ 件	件								
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円							
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	5	5	5	6	5	5	5
		延べ業務時間	時間	1,750	1,830	1,430	1,880	1,430	1,430	1,430
		(B)人件費計	千円	6,923	7,213	5,697	7,450	5,697	5,697	5,697
トータルコスト(A)+(B)		千円	6,923	7,213	5,697	7,450	5,697	5,697	5,697	

事務事業名	道路占用・施行承認事務	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は31年度的事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②2年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 道路管理者として行う必要がある。 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 法、市の基準に基づき許可・承認する ☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない ☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 現在行っている事務は、必要最小限の事務である ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 現在行っている事務は、必要最小限の事務である ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 市の条例に基づく負担。法に基づく許可・承認。 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 法に基づき許可承認をしており、道路管理者として行うことは適正である ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

何の問題もなくスムーズに処理できた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							